

事業所名

A to Z Academy 銀座 放課後等デイサービス

支援プログラム

作成日

2026 年

1 月

1 日

法人（事業所）理念

「未来の輝きを育む」
AtoZ Academy 銀座は、すべての子どもたちが持つ無限の可能性を信じ、その個性と強みを最大限に伸ばすことを理念としています。
健康で安定した生活リズムの形成、活発な運動と感覚の発達、そして豊かな言語・コミュニケーションの獲得を支援することで、子どもたちの成長を総合的にサポートします。
特に、当事業所では、「微細運動の発達支援」「粗大運動の発達支援」「言語・コミュニケーション支援」の3領域を重点的に取り組みの柱とし、
子どもたちが自己を表現し、互いに学び合いながら成長できる環境づくりを大切にしています。
子どもたち一人ひとりが自信を持ち、未来を切り開く力を育むことを目指し、専門性と温かさを両立した支援を提供してまいります。

支援方針

お子様一人ひとりの個性と発達特性を尊重し、安心できる関係づくりを基盤として、将来につながる力の育成を目指します。微細運動・粗大運動・言語の3領域を中心に、発達段階に応じた支援を計画的に実施し、着実な成長を支えてまいります。また、保護者様との連携を重視し、日々の様子を共有しながら、子育て全体を支える体制を整えてまいります。

営業時間

9 時

0 分

から

17 時

0 分

まで

送迎実施の有無

あり

なし

ねらい

支援内容

支援方法例

健康・生活

・学校生活を安定して送れるよう、健康状態適切に維持し、必要に応じて改善を図る。
・年齢期にふさわしい生活習慣および生活リズムの形成を促し、心身の安定につなげる。
・学校・家庭・事業所での生活を見通して行動できるよう、時間管理や持ち物管理などの自己管理能力（マネジメントスキル）を育て、自立に向けた基盤を整える

<健康状態の維持・改善>
・日々の健康状態や学校生活での疲労・ストレスを観察し、変化に応じて適切に対応する。
・発達特性に配慮し、多角的に心身の状態を把握し、安心して学校生活・放課後活動に参加できるよう支援する。
<生活習慣・生活リズムの形成>
・睡眠・食事・清潔保持など、年齢期に必要な生活習慣の定着を支援し、安定した生活リズムを整える。
・季節や体調に応じたセルフケアを促し、学校・家庭・事業所の生活リズムが無理なくつながるよう支援する。
<基本的生活スキルの獲得>
・身だしなみや持ち物管理、整理整頓など、自立に必要な生活スキルを発達段階に応じて支援する。
・視覚的支援等を用いて、準備・片付け・時間管理を習慣化し、見通しを持って行動できる環境を整える。

<時計の理解>
・スケジュール等で見通しと切り替えを促す。
<生活習慣>
・生活習慣をルーティン化し、できた点を伝えて定着させる。
<時間の使い方>
・一日の流れを視覚化し、宿題・自由時間の配分を支援する。
<時間厳守・切り替え>
・「予告→合図→フォロー」で切り替えを支援し、成功体験を積む。
<金銭管理>
・おやつ選びや買い物体験で金額理解と簡単な計算を学ぶ。
<片付け>
・片付け場所を明確にし、整理しやすい環境を整える。

運動・感覚

・姿勢や運動・動作に関する基本的技能の向上を図る。
・姿勢保持や動作を補助する手段を適切に活用できるよう支援する。
・身体の移動能力を高め、生活場面での自立性を促す。
・保有する感覚を活かし、活動への参加を広げる。
・感覚を補う手段や代行手段を活用し、生活のしやすさを向上させる。
・感覚特性に応じた環境調整や支援を行い、安心して活動できる状態を整える。

<姿勢と運動・動作の基本的技能の向上>
姿勢保持、関節拘縮の予防、筋力の維持・強化を支援し、日常生活に必要な基本的な動作技能の向上を図る。
<姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用>
必要に応じて姿勢保持や動作を補助する手段を活用し、安全で安定した活動を支援する。
<身体の移動能力の向上>
日常生活や社会参加に必要な移動能力を高め、自立性の向上につなげる。
<保有する感覚の活用>
視覚・聴覚・触覚など、子どもが保有する感覚を活かし、活動への参加や理解を促す。
<感覚の補助及び代行手段の活用>
障害の状態や発達段階、興味関心に応じて、眼鏡・補聴器などの補助具や他の感覚・機器による代行手段を活用し、情報収集や状況把握を支援する。
<感覚の特性への対応>
感覚特性に応じて環境調整や刺激量の調整を行い、安心して活動できる状態を整える。

<着座姿勢の訓練>
机上学習における座位保持を練習し、必要に応じて壁を利用した姿勢調整を行うことで、安定した座位姿勢の定着を図る。
<微細運動の強化>
・ピース通し：手指の巧緻性と目と手の協応を高める。
・パズル：ピースの操作を通して手指の操作性と空間認識力を向上させる。
・粘土遊び：こねる・形を作る動作で手の筋力と創造性を育てる。
・紐結び・靴紐練習：指先の精度と協調性を高める。
・指先での絵画・お絵描き：手先の器用さと表現力を伸ばす。
<書字に向けた指先のトレーニング>
指先の巧緻性を高め、鉛筆の持ち方を練習することで書字に必要な基礎技能を育てる。
<はさみの使い方のトレーニング>
ハサミの持ち方と操作方法を練習し、太線の中央を切る課題を通して指先の力とコントロール力を養う。

本人支援	認知・行動	<ul style="list-style-type: none">・お子様の認知特性を理解し、学校生活や日常場面で力を発揮しやすいよう、個々に応じた適切な支援や対応を行う。・感覚の活用や認知機能の発達を促し、周囲の状況を適切に理解し、場面に応じた行動が選択できるよう支援する（知覚から行動へのつながりや概念形成の発達を含む）。・行動上の困りごとを予防し、必要に応じて適切に対応することで、安心して生活・学習・活動に取り組める状態を整える。	<ul style="list-style-type: none"><認知特性の理解と適切な対応>・お子様の認知特性を把握し、視覚化・段階化など理解しやすい方法で学習や活動に取り組めるよう支援する。・刺激量の調整や環境の構造化を行い、学校生活や放課後活動に安心して参加できる環境を整える。<状況理解と適切な行動の習得>・感覚を活かした課題を通して認知機能の発達を促し、周囲の状況を理解しやすくする。・分類・比較・順序づけなどの活動を通して、場面に応じた行動選択ができるよう支援する。・大きさ・数・空間・時間などの概念形成を促し、学校生活や日常場面で見通しを持って行動できる力を育てる。<行動上の困りごとの予防と対応>・感覚特性や認知の偏りに応じて環境調整や事前予告を行い、行動上の困りごとを予防する。・不安が高まった際には、落ち着ける環境や視覚の手がかりを用いて、安心して行動を整えられるよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"><聴覚的理解の向上>・読み聞かせや口頭指示に従う活動を通して、集中して聞く力と聴覚的理解力を高める。<視覚的注意・追視能力の向上>・ボールや視覚教材を使い、視線の維持や追視の練習を行い、学習や集団活動に必要な視覚的注意力を育てる。<文字・数字の認識力の向上>・ひらがな・カタカナ・数字のカードや指なぞり活動を用いて、文字や数字の形の認識力と記憶力を強化する。<数・比較・量の概念理解>・カウント活動やブロックを使った大小・多少の比較を通して、数や量の概念を理解し、学習につながる基礎力を育てる。<情報選択・情報処理能力の向上>・絵カードの選択課題や短文から必要な語句を抜き出す練習を通して、必要な情報を選び取る力や読み取りの基礎力を高める。	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">・聞く・話す力を育て、日常のコミュニケーションの基礎を整える。・相手の言葉を理解し、自分の気持ちや考えを適切に伝えられるよう支援する。・語彙や文の組み立てを促し、学校生活で言葉を活用できる力を高める。・友だちや大人とのやり取りを通して、順番・共有・協力などの社会的スキルを育てる。・言語・ジェスチャー・カードなど、本人に合った手段で意思疎通できるようにする。・場面に応じた言葉の選び方や伝え方を身につけ、適切にコミュニケーションできるよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"><コミュニケーションの基礎的能力の向上>・障害特性に応じて、言葉・表情・身振り・機器を使った意思疎通を支援する。<言語の受容と表出>話し言葉や文字・記号を理解し、自分の考えを伝える力を育てる。<言語の形成と活用>言語を通して概念を形成し、体系的な言語力を身につける。<人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得>相互作用を通して、共同注意や適切な言動を学ぶ。<状況に応じたコミュニケーション>人間関係や状況を踏まえ、適切なコミュニケーションを支援する。<読み書き能力の向上>特性に応じた方法で読み書き能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"><語彙の拡充>・読み聞かせやカード活動を通して、新しい語彙や表現への理解を促す。<発音の改善>・口や舌の動きを確認しながら、個々に応じた発音練習を行い、正しい発音の定着を図る。<話し方・言葉遣いの習得>・ロールプレイ等を用いて、場面に応じた適切な話し方や言葉遣いを練習する。<意見表明の練習>・人前で話す機会を設け、自分の考えを言葉や適切な手段で伝える力を育てる。<聴く姿勢の育成>・集団活動の中で、相手の話を最後まで聞く姿勢や、順番を守って会話に参加する力を養う。	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none">・安心して過ごせる関係づくりを大切にし、情緒の安定につながる基盤を整える。・気持ちのコントロールや安心感を育て、落ち着いて活動に取り組めるよう支援する。・他者との関わりを広げ、基本的な人間関係のスキルを身につける。・遊びや活動を通して、協力・順番・ルール理解などの社会性を育む。・自分の気持ちや特性を理解し、状況に応じて行動を調整する力を養う。・仲間づくりを支援し、集団活動への参加意欲と協調性を高める。	<ul style="list-style-type: none"><安心できる関係づくり>・安心感と信頼感を育てる関わりを行い、不安定な場面では「安全基地」として寄り添う。<情緒の安定>・落ち着ける環境づくりや気持ちの言語化を支援し、予測可能な流れの中で安心して活動できるようにする。<他者との関わり形成>・相手の気持ちや意図を理解できるよう支援し、挨拶・順番・共有など基本的な対人スキルを育てる。<遊び・活動を通じた社会性の促進>・段階的な遊び設定を通して社会性を育み、並行遊びから協同遊びへの発展を支援する。<自己理解と行動調整>・自分の気持ちや行動を理解できるよう支援し、気持ちの切り替えや行動調整の方法を示す。<仲間づくりと集団参加>・手順やルールを分かりやすく示し、協力や役割分担を通して仲間関係の形成と集団参加を支援する。	<ul style="list-style-type: none"><傾聴の練習（ペアワーク）>- ペアで交代して話す時間を設け、相手の話を集中して聞き、内容をまとめて伝える練習を行う。- 最後まで聞く姿勢や、必要な情報を整理する力を育てる。<他者の視点理解（ロールプレイ）>- 店員と客などの役割を設定し、他者の立場や気持ちを理解する練習を行う。- 社会的な場面を通して、共感力や状況に応じた言動を選ぶ力を育てる。<自己理解と自己評価>- 自己評価シートを使い、得意・不得意や課題、目標を書き出し、自分の状態を客観的に把握する力を育てる。- 本人が課題を理解したうえで取り組むことで、支援内容の定着を促す。	
家族支援		保護者様との連携を重視し、ご家庭での課題や希望を丁寧に伺いながら支援を進めています。支援中の変化は随時共有し、家庭と事業所が一体となってお子様を支えられるよう努めています。また、レスパイトケアの観点から、保護者様の負担軽減を目的とした延長支援も実施しています。	移行支援	学校や学童等訪問時にお子様の情報を先生方と共有し、必要な対応や些細な変化についても連携を図っています。	
地域支援・地域連携		他の事業所と連携し、情報共有を密に行いながら療育の質の向上に努めています。また、近隣住民と協力して避難訓練等を実施し、地域における障害児支援への理解促進に取り組んでいます。	職員の質の向上	法定研修に加えて外部講師による研修にも積極的に参加し、多様な視点から判断力や洞察力を高めています。また、職員同士の知識共有や横展開を重視し、継続的にスキルを向上させる社内体制を整えています。	
主な行事等		日本の四季折々の文化や風習に触れる活動を通して、季節の変化や日本文化への理解を深めています。また、新年・節分・雛祭り・子どもの日・七夕・夏祭り・お月見・クリスマスなど、年間行事に応じた取り組みも実施しています。			